



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社マーキュリアホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7347 URL <https://www.mercuria.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 豊島 俊弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理統括 (氏名) 滝川 祐介 TEL 03-3500-9870

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,959	33.7	2,788	△21.1	848	△53.9	1,051	△49.8	719	△50.1
2022年12月期第3四半期	3,709	31.6	3,533	31.7	1,839	26.0	2,095	39.7	1,441	39.6

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 942百万円 (△68.1%) 2022年12月期第3四半期 2,957百万円 (75.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	36.65	36.53
2022年12月期第3四半期	70.26	70.03

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	19,117	17,424	85.6
2022年12月期	19,983	17,542	83.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 16,367百万円 2022年12月期 16,628百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期（予想）				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	45.7	5,100	16.0	2,450	19.2	2,450	11.0	1,700	8.8	86.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）SR Target, L.P.

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	21,482,700株	2022年12月期	21,482,700株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	2,153,977株	2022年12月期	1,429,177株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	19,611,850株	2022年12月期3Q	20,514,341株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行し、行動制限の緩和やインバウンド需要の回復などにより、経済活動及び社会活動の正常化が進み、国内経済は回復基調にあります。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化による資源価格の高騰や円安進行、米国の金融機関の破綻、さらにはインフレリスクに対応した欧米諸国での政策金利の引き上げといった世界的な金融引き締めが続くなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下で、当社グループでは中長期的な成長を目指し、既存ファンドにおいて、子会社である株式会社マーキュリアインベストメントが管理運営を行う「あすかDBJ投資事業有限責任組合」にて保有株式の売却により投資回収を行うことにより、成功報酬を計上しました。また同じく管理運営を行い、昨年組成いたしました本邦中堅企業等の事業承継をテーマとした「マーキュリア日本産業成長支援2号投資事業有限責任組合（バイアウト2号ファンド）」については、生命保険会社や損害保険会社、年金基金、都市銀行、地方銀行、海外投資家など、様々な投資家層から新たに投資を受け、当初目標を上回る募集金額にて最終クローズを迎え、小型機を主な投資対象とする航空機ファンドの2号ファンドについては、1機目の航空機の買い付けを行いました。

新規ファンドにおいては、日本経済の持続的成長に不可欠なインフラ領域における投資戦略の一環として、三井住友信託銀行が組成したジャパン・インフラストラクチャー第一号投資事業有限責任組合につき、その投資助言を行うジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社へ出資参加し、事業参画いたしました。

一方で、自己投資事業において、リファイナンスに伴うリストラクチャリングの過程で、Spring REIT ユニットの譲渡取引を行ったことにより、当社グループが保有する営業投資有価証券に係る損失を計上することとなりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益4,959,436千円（前年同期比33.7%増）、経常利益1,051,341千円（前年同期比49.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益718,682千円（前年同期比50.1%減）となりました。対前年同期比では、営業収益については増加しておりますが、これは主に上述した自己投資事業におけるリストラクチャリングの過程で、Spring REIT ユニットの譲渡取引を行った結果、多額の営業収益を計上したことによるものであります。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の減少については、上述したSpring REIT ユニットの譲渡取引により生じた損失に加え、前第3四半期連結累計期間において発生した「マーキュリア日本産業成長支援投資事業有限責任組合（バイアウト1号ファンド）」が保有する株式の売却取引に伴うファンド投資持分利益の計上及びSpring REITにおける、物件の取得完了にかかる成功報酬の計上が当第3四半期連結累計期間になかったことによるものであります。

なお、当社グループは投資運用事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して866,444千円減少して19,116,623千円となりました。これは主に、現金及び預金が428,380千円増加した一方で、上述したSpring REIT ユニットの譲渡取引及び保有有価証券に係る時価評価の影響等により、営業投資有価証券が1,284,403千円減少したことによるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比較して748,145千円減少して1,692,836千円となりました。これは主に、前受収益が290,017千円、賞与引当金が165,044千円増加した一方で、短期借入金が100,000千円、未払費用が313,470千円減少したこと、さらに上述した自己投資事業におけるリファイナンスに伴い、1年内返済予定の長期借入金が130,000千円及び長期借入金が613,500千円減少したことによるものです。

純資産額は、前連結会計年度末と比較して118,299千円減少して17,423,787千円となりました。これは主に利益剰余金が184,922千円、為替換算調整勘定が272,197千円、非支配株主持分が142,121千円増加した一方で、自己株式が526,630千円増加（純資産は減少）、その他有価証券評価差額金が190,909千円減少したことによるものです。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した通期業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,013,477	3,441,857
営業未収入金	603,901	808,913
営業投資有価証券	13,423,443	12,139,039
営業貸付金	594,850	740,452
関係会社短期貸付金	520,000	—
立替金	113,452	259,180
その他	574,351	526,191
流動資産合計	18,843,472	17,915,632
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	175,775	188,948
工具、器具及び備品（純額）	17,179	20,534
有形固定資産合計	192,954	209,482
無形固定資産		
ソフトウェア	1,388	1,887
無形固定資産合計	1,388	1,887
投資その他の資産		
投資有価証券	307,454	245,632
敷金及び保証金	83,031	101,670
繰延税金資産	538,432	629,323
その他	16,337	12,998
投資その他の資産合計	945,253	989,622
固定資産合計	1,139,595	1,200,991
資産合計	19,983,067	19,116,623
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	130,000	—
未払金	38,201	7,436
未払費用	401,479	88,009
未払消費税等	30,527	50,508
未払法人税等	388,734	304,872
前受収益	—	290,017
賞与引当金	33,641	198,685
その他	58,256	72,245
流動負債合計	1,180,839	1,011,772
固定負債		
長期借入金	613,500	—
役員退職慰労引当金	102,000	102,000
役員株式報酬引当金	180,294	193,419
従業員株式報酬引当金	20,000	25,625
退職給付に係る負債	160,053	186,642
長期未払金	70,000	70,000
長期預り金	19,407	25,050
その他	94,888	78,327
固定負債合計	1,260,143	681,064
負債合計	2,440,981	1,692,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063,577	4,063,577
資本剰余金	4,516,845	4,516,845
利益剰余金	8,863,183	9,048,106
自己株式	△1,065,271	△1,591,901
株主資本合計	16,378,334	16,036,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,274	△79,635
為替換算調整勘定	138,065	410,263
その他の包括利益累計額合計	249,340	330,627
新株予約権	83	83
非支配株主持分	914,330	1,056,451
純資産合計	17,542,086	17,423,787
負債純資産合計	19,983,067	19,116,623

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	3,709,211	4,959,436
営業原価	176,675	2,171,566
営業総利益	3,532,536	2,787,870
販売費及び一般管理費	1,693,394	1,940,022
営業利益	1,839,142	847,848
営業外収益		
受取利息	2,150	25,132
為替差益	259,877	140,821
賃貸料収入	457	437
持分法による投資利益	—	58,486
その他	4,854	2,190
営業外収益合計	267,338	227,066
営業外費用		
支払利息	6,030	5,804
融資関連費用	5,069	13,500
その他	643	4,269
営業外費用合計	11,742	23,573
経常利益	2,094,739	1,051,341
税金等調整前四半期純利益	2,094,739	1,051,341
法人税等	524,510	277,709
四半期純利益	1,570,229	773,632
非支配株主に帰属する四半期純利益	128,862	54,950
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,441,367	718,682

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,570,229	773,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	942,600	△190,909
為替換算調整勘定	464,645	383,255
持分法適用会社に対する持分相当額	△20,415	△23,887
その他の包括利益合計	1,386,830	168,458
四半期包括利益	2,957,059	942,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,715,188	799,970
非支配株主に係る四半期包括利益	241,872	142,121

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間より、SR Target, L.P.は清算したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは投資運用事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。